

※12月16日～31日のテーマは

## 記事の見出しを付けてみよう

■ほとんどの新聞記事には「見出し」があります。記事の内容を要約して、短い見出しで記事のイメージを伝える大事なもの。

新聞記事の構成は、記事（本文）の結論を「見出し」で先に示し、本文で詳しく記述されています。見出しは「題名」ではなく、読み手が理解できるように表現することが大切です。

▽気になった記事を切り抜いて（見出しも切り抜いて）、自分で考えた見出しをあてはめてみましょう。



最初の見出し「**集団移転目指し協議会**」

- ・「伊里前街づくり協議会」が11日に発足
- ・10団体の関係者でつくる
- ・高台の移転候補地（32㌔）はある
- ・千葉会長は「故郷に戻りたいと願う人はたくさんいるはずだ。…」

以上の記事内容から、住民や商店会、消防団などの関係者たちが、早く故郷の伊里前に戻りたいという願いが込められている協議会が設立されるので、「**住民らの願い込めた協議会設立**」という見出しを付けました。

※記事を解説しながら書いてみましょう。

※今回のテーマは来年1月15日に完成したスクラップブックと一緒に持ってきてください。あたらしいスクラップブック（つぎのテーマ）と交換します。

\* \* \* \* \*

### 【ご家族の皆さま】

河北仙販では、小学生が新聞と触れ合う企画を増やし、新聞をより身近に感じてもらうことを目的に「新聞スクラップくらぶ」をスタートさせました。新聞は子どものさまざまな「力」を伸ばす身近な教材として、今年4月から「学習指導要領」に加えられ、小学校では授業に新聞が取り入れられています。

月2回テーマを変えながら、新聞記事を読み解く力、その感想を発信する力、そして持続する力が養えることができると思っています。ご家族の協力も必要です。はじめは親子で新聞をスクラップしながら、その記事についていろいろな会話をすることで、新聞に目を通す習慣が備わってくると思います。あらゆる学習の基礎となる「国語力」を伸ばすための新聞活用にご理解とご協力をお願いします。